

中東欧経済情報

2023年9月号

ハンガリー関連ニュース

ハンガリーの主な経済指標

ハンガリーでは2023年第1四半期も景気後退が続き、GDPは前年比で0.9%、前年同期比では0.2%減少した。工業生産高は前年比3.2%減、建設業は同7.7%減、小売業は同10.4%減となった。昨年大きく落ち込んだ農業生産高は今年、素早い回復が予想される。サービス業では金融、輸送、観光、通信の分野で多少の成長する見込みである。雇用はやや拡大し、失業率は昨年の3.6%から3.9%に上昇するだろう。

名目賃金は2023年4月、民間企業で前年比16.4%、公共部門で同13.4%上昇した。24%の物価上昇率を考慮すると、実質賃金は平均7%で減少したことになる。ハンガリー経済研究所は2023年の賃金上昇率を平均16%と予測しており、それ以上の賃金上昇もあり得るとしているEUの結束基金についてまだ合意がないということもあり、ハンガリーの財政状況は深刻で、多くの公的投資が中断された。財政赤字は2023年5月、2023年の目標値の80%に達した。現在のGDP比3.9%の赤字目標に対し、ハンガリー経済研究所は同4.7%程度の赤字を予測している。一方、インフレーションによりGDPに



占める国債比率は69%に減少する可能性がある。物価上昇率は2023年、平均19%程度になる見込みである。同年後半には鈍化し、年末までには1桁の物価上昇率が落ちつくかもしれないが、エネルギー価格の上昇、フォリント安等は物価を上昇させるリスクがある。

2023年は、平均1ユーロ390フォリントのレートが予想される。ハンガリー中央銀行は政策金利を引き下げ始めたが、フォリント安に繋がる可能性がある。格付け会社Fitchは前回、ハンガリーの格付けを据え置いたが、見通しを「ネガティブ」にしているため、格下げのリスクがあり、それはフォリントのレートにも影響するとみられる。

出典：GKI

ハンガリーで存在感を増すアジア企業

ハンガリー最大の私的教育機関であるマティアス・コルヴィヌス・コレギウム開催の「ブダペスト平和フォーラム」で、ハンガリーの経済発展大臣、ナジ・マルトン氏は、ハンガリーにおけるアジア企業の重要性がますます高まっていると述べた。同氏はアジア企業による設備投資により経済発展が加速されるとし、投資を促す致活動の意義を強調した。ハンガリーは東と西、また外国企業と国内企業との仲介をする役割を果たしており、その経済は発展と平和の理念に基づいているとした。近年の一連の危機にもかかわらず、GDP比の投資率と輸出高は突出しており、2023年は20兆フォリントという年間投資金額の新記録が達成される可能性があるという。今後数年間でさらなる成長が期待され



ている。成長の大部分は製造業における投資によるとされている。アジア企業に加えて、ドイツ資本、バルカン諸国もハンガリー経済にとってより重要になりつつある。

出典：Infostart

ハンガリーのニールエジュハーザに新たなバッテリー工場

シーヤールトー外務貿易大臣は、中国のSunwoda社がニールエジュハーザ市で約5,800億フォリントの投資を行うと発表した。世界最大手の電池メーカーの一つであるSunwoda社は、同市に初の欧州工場を建設することになる。シーヤールトー外務貿易大臣によると、この投資により何千人もの新規雇用が創出されるだろうという。Sunwoda社にとって、環境保護が「非常に重要」であるという。親工場に必要な水の総量の90%は処理済み廃水からまかなわれ、その他の水は手洗い、飲料などの目的にのみ使用している。シーヤールトー外務貿易大臣は「これらの投資は基本的には電気自動

車産業の分野に属している」「電気自動車産業が未来の産業であることは間違いない。電気自動車産業への投資を獲得する国は必ず成功するだろう」と述べた。

中国がハンガリーで自動車関連投資をする理由は、ドイツの複数の自動車メーカーがハンガリーに工場を持っていることが挙げられるという。

出典：Forbes

ハンガリーの新規火力発電所に関する公共入札の参加通知期間が終了



ヴィシオンタのマトラ火力発電所とティサウーイヴァーロシュのティサ火力発電所の敷地における約1,600MWの新規ガス火力発電所の建設に関するMVMグループの公共入札の参加通知期間が終了した。ヴィシオンタには1基（650MW）、ティサウーイヴァーロシュには2基（2 x 500MW）のコンバインドサイクル火力発電所（CCGT）が建設される計画である。両発電所の建設に関して、入札段階でそれぞれ6社が正式に募書類を提出した。

マトラ火力発電所の敷地内のCCGT火力発電所建設に応募した企業：

- General Electric および Calik Enerji Swiss AG（トルコ）コンソーシアム
- China National Machinery Corporation
- ELSEWEDY ELECTRIC（エジプト）、West Hungária Bau Kft. および Status KPRIA Zrt. コンソーシアム
- Harbin Electric（中国）
- Técnicas Reunidas SA（スペイン）
- Siemens Energy, Market Építő Zrt., Mytilineos SA（ギリシャ）コンソーシアム

ティサウーイヴァーロシュ火力発電所の敷地内のCCGT火力発電所建設に応募した企業：

- Siemens Energy, Market Építő Zrt., Mytilineos SA（ギリシャ）コンソーシアム
- Calik Enerji Swiss AG（トルコ）および Ansaldo Energia Spa（イタリア）コンソーシアム
- China National Machinery Corporation（中国）
- ELSEWEDY ELECTRIC（エジプト）、West Hungária Bau Kft. および Status KPRIA Zrt. コンソーシアム
- Técnicas Reunidas SA（スペイン）
- Harbin Electric（中国）

出典：Portfolio

ハンガリーは重要性が高まる中央アジアにおいて競争上の優位性を持つ

近年、中央アジア地域の重要性が高まっているが、ハンガリーは他国よりも早くから中央アジア諸国との関係構築に着手しており、現在は競争上の優位な立場にある。これはハンガリーとキルギスの貿易高にも表れており、その額は昨年71%増加して過去最高となり、今年もこれまでに3.5倍の増加が記録されている。経済協定に基づき、ハンガリー企業はキルギスの給水と灌漑の開発において有利な機会が与えられ、食品産業の分野でも様々なプロジェクトが

準備されている。さらに、ハンガリー企業による太陽光発電所の建設が間もなく開始される可能性がある。ビシュケクでは25億フォリント相当の共同鉄鋼生産も始まっている。高等教育における協力もますます活発化し、キルギスから毎年200人の学生が奨学金を得てハンガリーの高等教育機関に学んでいる。ハンガリー外交アカデミーでもキルギスの若手外交官が研修に参加している。

出典: Kormany.hu



ポーランド関連ニュース

ポーランドで最低賃金が上昇

ポーランド政府は来年、最低賃金を記録的に引き上げる計画を発表した。月額最低賃金は2023年7月に3,600ズウォティ（805ユーロ）に引き上げられたばかりだが、議会2024年1月に4,242ズウォティ（949ユーロ、前年比+17%）、同年7月には4,300ズウォティ（962ユーロ、前年比+19%）に引き上げるという提案を承認した。ポーランドでは通常、最低賃金

は年初に1回のみ引き上げられることになっているが、インフレ率が5%を超えると年内にもう1回引き上げると法律で定められている。2023年のインフレ率は12%、来年は6.6%となるとされている。インフレは現在鈍化しているものの、今後数カ月は2桁水準にとどまると予想されている。

出典：Notes from Poland

ポーランドの経済成長はヨーロッパで最も高い



ポーランドの2023年第1四半期の経済成長率は、他のEU加盟国のすべてを上回ったと、EU

の公式統計局ユーロスタットが改訂データで報告した。中東欧（CEE）、そしてヨーロッパ全体の中で、ポーランドは3.8%と最も高い成長率を示し、2番目のクロアチアは1.4%だった。ラトビア（0.6%）とブルガリア（0.5%）と続く。中東欧諸国では2023年第1四半期に経済が縮小し、経済成長率はハンガリー-0.3%、エストニア-0.6%、リトアニア-2.1%となった。一方、世界銀行は最新の報告書で、ポーランドの2023年の経済成長予測を0.7%と維持した。また、ポーランドのGDPは2024年に2.6%、2025年に3.2%成長すると予測されている。数々の危機や戦争にもかかわらず、戦争にもかかわらず、ポーランドは依然として成長を続けている。

出典：Central European Times

EU東部諸国はウクライナ産穀物の禁輸措置の延長を呼びかけ

現在、ポーランド、ブルガリア、ハンガリー、スロバキア、ルーマニアはウクライナ産穀物に対し輸入禁止措置を取っており、9月15日までとの期限はEUにも承認されている。これら5カ国は同措置をより延長するよう求めた。禁輸措置はウクライナに向けられたものではなく、むしろ自国の農業部門を守ることを目的にしているのである。

ポーランドのロベルト・テルス農業大臣によると輸入禁止措置によって第三国への輸送が実際に改善されたと主張し、第三国への輸送の継続を許可する予定だという。ポーランドでラズベリーなど特定の果物の価格が最近下落したこと



を受け、ポーランド首相モラヴィツキ氏は、「他の農産物市場に不安定化の兆候が見られる場合には禁輸措置を穀物以外の他の農産品群にも拡大する」としている。

出典：Notes from Poland

ポーランドのオーレン、BPから原油600万トンを購入、年間需要の15%をカバー

ポーランド国営エネルギー会社オーレンは、英国の石油・ガス大手BPとの間で、BPのノルウェーの油田から最大600万トンの原油を2024年中に購入する契約を締結した。

BPとの契約はオーレン製油所の年間供給量のほぼ15%に相当する。ロシアのウクライナ侵略とその後のエネルギー市場の混乱を受けて石油供給元を多様化し、原油の安定供給源を確保するという同社の戦略の一環である。

オーレンはポーランド国内だけでなく、ドイツ、チェコ、スロバキア、リトアニアにもガソリンスタンドを展開している。また、ポーラン

ドのプウォツク、チェコのリトヴィノフ、クラルピ、リトアニアのマゼイキアイで4所製油所を運営しており、石油処理能力は年間約4,200万トンである。

オーレンは太陽光発電と風力発電のプロジェクトに投資しているほか、ポーランド国内の数カ所に小型原子炉の建設も計画している。

オーレンの報告によると、ポーランドの原油は現在、北海、西アフリカ、地中海、ペルシャ湾、メキシコなどロシア以外の地域から100%輸入しているという。しかし、同社は依然としてロシア産原油をチェコに輸送している。

出典：Notes from Poland

スロバキア関連ニュース

スロバキアの経済が立ち直るのには時間がかかりそう

スロバキア財務大臣ペーテル・ドヴァン氏は経済予測を再検討し、2024年のGDP成長予測を下方修正した。そのデータによると、2023年にスロバキアのGDPは1.2%成長するという。以前の予測は1.3%であった。2024年のGDP成長予測は以前は1.8%だったが、今回

1.3%に引き下げられた。失業率は2023年に6.1%、2024年に5.7%になるという。また、実質賃金は2023年は-0.6%と減少するが、2024年には2.2%、2025年には2.7%と上昇している。

出典：Portfolio

2029年までにスロバキアの電気自動車はディーゼル車よりも安くなる

排出ガス規制により化石燃料で走る自動車の価格が上昇し続ける中、スロバキア環境政策研究所の分析によると、EUの内燃エンジン禁止令が発効する2035年の5年前の2030年に電気自動車を購入する者は2500ユーロ節約できる可能性があり、電気自動車のコスト効率が高まるとされている。

スロバキア環境政策研究所のアナリストによると、排出規制により化石燃料で走る自動車の価格は今後も上昇し続ける。2035年のEUによる内燃エンジン搭載の新車販売禁止に備え、各メーカーは電気自動車の生産を拡大するために、電気自動車の価格は2028年にガソリン・ディーゼル車より安くなると予想されている。大型のSUVとなると、その差はさらに大きくなり、電気自動車は2年以内にガソリン・ディーゼル車より安くなるという。

しかし、電気自動車の購入に対する国の十分な支援がなければ、ユーザーは新車の購入に消極的になり、代わりに中古の内燃エンジン車を求める可能性がある。アナリストは、電気自動車業界で「規模の経済」が実現する前に、支援体制を整える必要があると提唱している。

もう一つの提案は、「汚染者が支払う」税金を利用して、中古燃焼車の価格を引き上げることであるが、このような政策は、スロバキアで強い抵抗に直面する可能性が高い。スロバキア政府は交渉の土壇場で内燃エンジンの禁止令を阻止しようとし、より厳しいEU排出ガス基準と闘う国々の同盟の一員でもある。

出典：Euractiv

エネルギー価格の高騰により、スロバキアの工場排出量が5分の1に減少

スロバキアの工場の二酸化炭素排出量は2022年に20%減少した。

スロバキアの排出量が最も減少したのは経済困難の時期であった。2009年の景気後退期には8.7%減少し、2020年のコロナのパンデミック後は6.9%減少した。2022年の景気後退も同様である。工場からの排出量が20%減少したのは、ロシアによるウクライナ侵攻後のエネルギー価格の高騰が主な原因と考えられる。

前出のアナリストは、企業の生産に必要なエネルギー源を再生可能エネルギーに切り替えるな

ど、エネルギー効率の上昇や節約の対策を実施したため、この方向性の一部は永続的になる可能性があると付け加えた。

ただし、減少の原因は経済的なものであるため、変化が定着しない可能性もある。パンデミックの年を経て、2021年には排出量が10%増加したということも記憶に新しい。

温室効果ガス排出量が増加しているのは、輸送機関、特に乗用車の分野だけである。燃料価格の高騰にもかかわらず、乗用車による排出量は3%増加した。

出典：Euractiv

スロバキアのすべてのソーラーパネルがEU資金の対象となるわけではない

「環境に重大な影響を及ぼさない」という原則は2023年7月から国家資金調達の申請条件の1つとなるため、スロバキアでは将来、EU基金を通じて資金提供されるソーラーパネルとヒートポンプが減少すると予想される。

結束基金では、2021年から27年の資金調達プログラム期間に「環境に重大な影響を及ぼさない」という条件が含まれたため、スロバキアイノベーション・エネルギー庁は、再生可能エネルギー設備の募集にこの条件を含める予定である。前回の資金調達プログラムでは、1億1,100万ユーロ以上の資金が53,000世帯に提供された。この際は各世帯が5000以上の選択可能な設備リストから製品を選ぶことができた。今回は1億4000万ユーロ以上の資金が用意されてい

るが、新たな持続可能性規則によりリストの製品数がさらに少なくなる可能性が高い。同庁はリストの作成方法についてEU資金省に確認中である。

今後の資金調達プログラム期間では、EUが資金提供する技術はEUの環境目標の6つのうち少なくとも1つに貢献しなければならない。他の5つを著しく損なうこともできない。環境目標には、気候変動の緩和、水資源の持続可能な利用と保護、循環型経済への移行、廃棄物の防止とリサイクル、汚染の防止と管理、生態系の保護が含まれる。ただし、実際にすべての原則を守ることは技術的には困難である。

出典：Euractiv

チェコ関連ニュース

チェコの物価上昇率は中東欧諸国で初めて1桁に減少

中東欧各国の中、物価上昇率はチェコで初めて1桁、つまり10%以下に減少した。チェコ統計局の報告によると、6月の物価上昇率は前年比9.7%だった。予想されていた9.8%よりやや低い。前月比の物価上昇率は0.3%であった。

5月の物価上昇率は前年同期比11.1%であり、物価上昇の鈍化が見られる。物価上昇率のピークは2022年9月の18%であった。チェコ中央銀行の政策金利は2022年6月から7%で維持されている。

出典：Portfolio



チェコの平均賃金について

チェコの民間企業の平均賃金は前年比9.8%と増加し、月額1,683ユーロ（約40,324チェココルナ）に達した。他のヴィシエグラード・グループ（ハンガリー、ポーランド、スロバキア）をリードしているものの、依然としてドイツなどの近隣諸国には及ばない。ただ、賃金は10%近く上昇しているとはいえ、インフレを

考慮すると実質賃金は6.7%減少し、依然として西の隣国に大きく遅れをとっている。パンデミック以降、チェコの賃金はドイツの水準に近づいているが、チェコとオーストリアの賃金格差は過去3年間で更に拡大した。中東欧では、オーストリアの平均給与が最も高く、4,497ユーロである。

出典：Expats.cz

チェコ、初の小型モジュール式原子炉を2032年までに建設へ

チェコは、電源構成を多様化し、エネルギー安全性を高めるべく、2032年までに初の小型モジュール式原子炉を建設する予定だという。ペトル・パーベル大統領は同プロジェクトを支持し、今後の電源構成に原子力は重要な役割を果たすだろうと述べている。

チェコはすでにテメリンとドゥコバニに2つの従来型原子力発電所を保有している。小型モジュール型原子炉で原子力エネルギー能力を拡大

し、従来型の原子力発電所に新しいユニットを建設する計画もある。最初の小型モジュール式原子炉は2032年にテメリンに建設される予定である。昨年、チェコのエネルギー大手CEZ社は、地質調査の第一段階を完了したが、建設にどれくらいのコストがかかるかはまだ明らかではない。チェコはEUで原子力エネルギーを積極的に支持する派に属している。

出典：Euractiv

ハンガリーは対ロシア制裁免除の延長を求め、チェコへの石油輸出を確保

ハンガリーは欧州委員会に対し、ロシア産原油から作られた精製製品を確実にチェコに輸出できるように、ハンガリーのMOL社の子会社・Slovnaft社が現在受けている制裁免除をさらに1年延長することを要請するという。

Slovnaft社は、MOLグループが所有するスロバキアの石油精製会社に関係しており、現在の制裁免除は2023年12月に期限が切れる。チェコは現在、Slovnaft社の主要な輸出市場である。昨年、Slovnaft社の石油消費量に占めるロシア産以外の原油の割合はわずか約5%だったが、今年末までにそのシェアは30~35%に上昇するとされている。

MOL社は、スロバキアとハンガリーの製油所との間でも「ドジルバパイプライン」南支線から供給されるロシア産原油を使用している。スロバキアはほぼすべての石油を「ドジルバパイプライン」経由でロシアから輸入しているが、

今年はロシア産原油のシェアを減らす計画である。



出典：Euractiv

ルーマニア関連ニュース

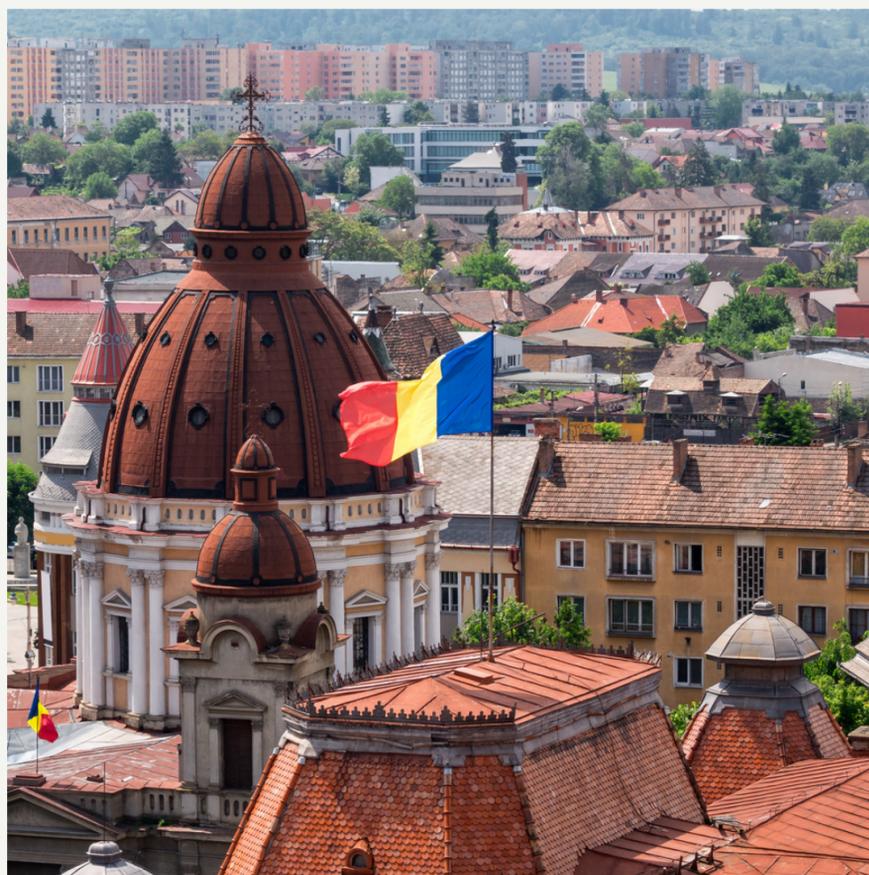
ルーマニア政府、EU資金によるプロジェクトの建設を完成させるために債務を返済へ

EU基金が資金提供するプロジェクト関連の債務は9月1日までに返済する、とルーマニアの投資・欧州プロジェクト省が発表した。ルーマニア地方自治体協会（AMR）の執行会長コンスタンティン・トーマ氏によると、支払い遅延は8億ユーロを超えているという。トーマ氏は「8億ユーロを超える非常に大きな遅延は、私たちが危険にさらしている」と述

べ、建設会社が支払をしなければ契約を打ち切ると脅している」と付け加えた。この問題に対処するため、ルーマニア地方自治体協会はマルセル・チョラク首相および閣僚と協議。その結果、投資・欧州プロジェクト省は、9月1日までにルーマニア政府が債務の返済を肩代わりすることを約束した。

出典：Euractiv

ルーマニアのGDP比の公的財政赤字は40%増加



ルーマニアは今年上半期、372億1000万レウの公的財政赤字で終えた。これは国内総生産（GDP）の2.34%に相当し、昨年同期に記録したGDP比1.67%を40%以上上回っている。Agerpres通信のデータによると、財政収入は2,427億4,000万レウと12%上昇し、支出は前年同期比16.5%増の2,799億6,000万レウになった。ルーマニアでは、社会自由主義政権連合が予算法に定めた額を上回る財政赤字を削減するため、新たな緊縮策を計画している。財政収入の増加を目指す案として、最低賃金と物品税の引き上げ、税制上の優遇措置と付加価値税の優遇税率の廃止が検討されているが、これらについてはまだ決定されていない。

出典：Profitline

日本・ルーマニア イノベーション・フォーラム

2023年6月19～20日、「ルーマニア・日本イノベーション・フォーラム」が開催された。主催は、在ルーマニア日本大使館、日本の総務省、ブカレストの日本貿易振興機構、ルーマニア研究・イノベーション・デジタル化省、国家電気通信管理・規制当局、クルージュ市役所、クルージュ IT クラスタ、トランシルバニア IT クラスタとC-EDU 教育クラスタ協会である。このフォーラムは、今年3月に両国が科

学技術協力に関する戦略的パートナーシップを締結したことをきっかけに創設された。

2日間のイベントでは、6月19日に学会、同20日にはスタートアップ企業を対象としたビジネスパートナーマッチングが行われた。日本とルーマニアの戦略的パートナーシップの確立により、今後、様々な分野で両国関係がさらに発展することが期待される。



出典：在ルーマニア日本大使館

ブルガリア関連ニュース

ブルガリアの工業PPIは6月に更に下落

ブルガリアの一般工業生産者物価指数（PPI）は、5月に前年同月比6.7%下落し、6月には前年同月比10.9%下落した。前月比では1.3%低下した。これは主に、電気産業、ガス産業、蒸気・空調機サプライセクターの価格が5.2%下落したことによる。生産者物価は、5月の前年比7%下落に続き、6月は同11.4%下落した。下落の主な理由は、

電気、ガス、蒸気、空調供給部門の価格が前年比で24%下落したことである。ブルガリアの製造業で大幅な価格上昇（前年比）がみられたのはタバコ製品（60.8%）および皮革製品（37.3%）である。対照的に、化学薬品および化学製品、基礎金属の国内生産者価格は、それぞれ前年比26.5%、22.1%減少した。

出典：SeeNews

高品質な雇用の創出で貧困と戦うブルガリア

ブルガリアはEU内で賃金が最も低い最貧国である。にもかかわらず、欧州生活・労働条件改善財団（ユーロファウンド）の調査によると、労働市場で良好な位置にあり、雇用創出においては上位につけ、27カ国中7位にランクされているという。

ユーロファウンドの2023年のデータによると、ブルガリアの最低賃金（399ユーロ）はEUの中で最も低かった。次に低いハンガリー（579ユーロ）との差はかなり大きい。ブルガリアの統計によると、ブルガリアの平均賃金は1,000ユーロ程度である。

ユーロファウンドの調査は、快適な職場環境は良い給料以上に重要なものであることも強調している。

ブルガリアは、職場で危険な化学物質への曝露が少ない、過酷な労働が少ない、同僚からのサポートがある等、いくつかの項目で平均を上回っている。一方、賃金が低い、騒音などの公害環境が悪い、雇用主負担の研修の機会がはるかに少ない等のため、総合的には平均より低い点数になる。

質の高い職場と魅力的な仕事の要素としては、給与以外に、雇用主負担の研修、キャリア開発の機会、ストレスの軽減、職場の自主性などが挙げられるのだ。

ただし、一部のEU諸国の社会的保護モデルには、副作用が生じることもある。モデルはあまりにも寛大で保護的すぎるため、人々が仕事を探す意欲を失ってしまう可能性がある。

働く人々に消極的な態度を引き起こしているだけでなく、労働条件がそれほど良くないEUの他の地域への頭脳流出も引き起こしているという。

ブルガリアには、EU予算から国民のスキルを開発し資格を獲得させるための投資として5億ユーロが与えられている。これらによってブルガリアは、2026年までに50万人に少なくとも中級レベルのデジタルスキルを習得させることを目標としている。今後数年間で、ほぼ90%の仕事でデジタルリテラシーが必要となり、これらのスキルを持たない人々は労働市場から脱落することになるかもしれない。最も教育レベルの低い人々は、労働市場で最もパフォーマンスが悪くなる。同氏は、求職者がフレキシブルな労働時間を求めることが増えたため、パンデミック以降、労働市場が大きく変化したと付け加えた。ブルガリアの労働市場における最大の問題は依然として人手不足である。

「給与が最も重要。『それらはそれほど重要ではない』とどれだけ繰り返しても、その重要性が薄れることはない」とブルガリア最大の労働組合組織CITUBのプラメン・ディミトロフ会長は語った。ディミトロフ氏は、ブルガリアでは人口減少が深刻な状況になり、200万人近くのブルガリア人が国外で働き、暮らしていると述べた。また、ディミトロフ氏は、ブルガリアは西側投資家がブルガリア市場に参入する際に技術移転を確実に実施させる必要があると説明した。「技術移転は質の高い雇用を生み出す鍵だ」からだ。同氏によれば、この点において、ブルガリアはEUおよびNATOの加盟国である利点をまだ十分に活用できていないという。



民主主義研究センターのマリア・トリフォノワ氏は、エネルギー転換と質の高い雇用を繋げることを強調する。「持続可能な低排出経済制度への移行には、エネルギーの生産と貯蔵のための新技術の導入など、多くの新機能が必要になる。」同氏によると、エネルギー転換が労働市場に及ぼす全体的な良い影響は、高度なスキルを供えるなど労働者の付加価値を高め、より高賃金の労働力を備えた部門での雇用が増加することだ。2020年にEUの再生可能エネルギー部門で雇用されていたのは120万人であったが、今後10年間で10倍に増加する見込みである。

出典：Euractiv

セルビア関連ニュース

EU、環境保護政策を支援するためにセルビアに1億6,200万ユーロを供与

セルビア政府は、同国の環境政策を促進する2億ユーロのプロジェクトの資金に必要な1億6,200万ユーロの支援金についてEUと合意した。セルビアのタンヤ・ミシェビッチ欧州統合大臣によると、資金は主に下水道と廃水処理施設の建設に当てられるという。

総額7,400万ユーロがズラティボルとモラヴィ

ツァ行政区のプロジェクトに当てられ、約10万人の住民に下水道サービスを提供する予定となっている。これとは別に、司法発展戦略および行政改革戦略の継続プロジェクトに3,000万ユーロが確保されるという。

世界銀行は3月にセルビアの環境政策を支援するために1億5,000万ユーロの融資を承認した。

出典：SeeNews

セルビア、ハンガリー、石油パイプライン建設、ガス共同取引会社設立で合意

セルビア政府はハンガリー政府との間に、石油パイプラインの建設とガス共同取引会社の設立に関する協定を締結した。

セルビア政府によると、共同ガス取引会社・SERBHUNGAS有限会社はセルビアのガス独占会社スルビジャガスとハンガリー国営電力会社MVM CEEnergy社の2社によって設立されるという。本拠は、ノヴィサドに本拠を置く。

計画されているパイプラインの詳細については明らかにされていない。

セルビアのエネルギー省は2月、エネルギー源の多様化を目的として、北部ノヴィサド市からハンガリーのアジェまでの128キロメートルの



石油パイプラインの建設に1億ユーロを投資する計画を発表した。

出典：SeeNews

シュディ社関連ニュース

「ハドラス」のハンガリー進出を支援しています

ハドラスホールディングス株式会社（本社：東京都江東区 東京都立産業技術研究センター内、設立：2000年2月29日、代表：山本英明）は2023年5月25日、グローバルな拡大戦略の一環としてハンガリーに「HARDOLASS HUNGARY Kft.」を設立しました。

ハドラスはナノレベルの薄膜コーティング剤を製造しています。コーティングを行うことにより空気中の水と反応し、高純度でナノレベル薄膜の透明ガラス被膜を作ります。目に見えないナノレベルのクラックまでコーティング剤の成分が入り込むことで、コーティング面が滑らかになり操作もしやすくなります。また、コーティング剤は製品の表面硬度をアップさせ、汚れや傷から守る効果が確認されています。非常に薄膜のため、手触りや外観、操作性に影響を与えないだけでなく、防錆、耐紫外線、抗ウイルスなどにも優れています。公共交通機関や公共施設でも導入が進んでおり、今後世界中に幅広く使われることが期待されています。

ハドラスホールディングスがハンガリーに子会社を設立した主な理由は、欧州・アフリカ・中東におけるビジネス展開を加速させることです。ハンガリーの優れたビジネス環境、安定した政治および高度な労働力に、ハドラスの高い技術力を組み合わせることで、日本から輸出していた同品質の製品を、顧客が求める以上のス

ピードでハンガリーから提供することが可能となります。

詳しくは、[ハドラスホールディングスのウェブサイト](#)をご参照ください。



シュディアンドカンパニー社は、日本の画期的な新技術を世界、特に欧州に広げるために活躍しており、ハドラスのような日本企業のハンガリーをはじめとする中東欧進出のお手伝いをできることを大変嬉しく思っています。進出先国の選択から製造拠点の開場式まで投資プロジェクトのあらゆる段階でお客様をサポートしており、生産開始後もフォローいたします。中東欧での事業拡大を検討し、市場・ビジネスチャンス開拓に関する最新情報が必要な場合は、[お気軽にお問合せください](#)。

ニュースの引用元

ハンガリー関連ニュース

- <https://forbes.hu/uzlet/sunwoda-nyiregyhaza-akkumulatorgyar-szijjarto-bejelentes/>
- <https://gki.hu/wp-content/uploads/2023/06/GKI-sajto-osszefoglalo-2306.pdf>
- <https://infostart.hu/gazdasag/2023/06/07/az-azsiai-partnerek-aranya-egyre-jelentosebb-mondta-nagy-marton-egy-konferencian>
- <https://kormany.hu/hirek/magyarorszag-versenyelonyben-van-a-megnovekedett-jelentosegu-kozep-azsiaban>
- <https://portfolio.hu/gazdasag/20230803/lezarult-az-mvm-által-inditott-kozbeszerzesi-eljaras-reszveteli-szakasza-ok-maradtak-meg-versenyben-631629>

ポーランド関連ニュース

- <https://centraleuropeantimes.com/2023/06/poland-eus-best-performing-economy-in-q1/>
- <https://notesfrompoland.com/2023/06/14/poland-plans-record-minimum-wage-rise/>
- <https://notesfrompoland.com/2023/06/27/polands-orten-to-buy-6-million-tonnes-of-crude-oil-from-bp-covering-15-of-annual-demand/>
- <https://notesfrompoland.com/2023/07/19/eastern-eu-states-call-for-extension-of-ukrainian-grain-ban/>

スロバキア関連ニュース

- <https://euractiv.com/section/politics/news/high-energy-prices-brought-down-fifth-of-slovakias-factory-emissions/>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/slovakian-electric-cars-will-be-cheaper-than-diesel-ones-by-2029/>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/slovakias-solar-panels-may-not-all-be-eligible-for-eu-funds/>
- <https://portfolio.hu/gazdasag/20230629/a-tatrai-tigris-tenyleg-kifulladt-evekig-nem-jon-ki-a-godorbol-szlovakia-624975>

チェコ関連ニュース

- <https://expats.cz/czech-news/article/czech-salaries-are-growing-but-still-lag-far-behind-germany-and-austria>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/czechia-to-build-first-small-modular-reactor-by-2032/>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/hungary-wants-russia-sanctions-exemption-extended-ensure-oil-exports-to-czechia/>
- <https://portfolio.hu/gazdasag/20230713/eloszor-a-cseh-inflacio-csokkent-a-regioban-az-egyszamjegyutartomanyba-627787>

ニュースの引用元

ルーマニア関連ニュース

- <https://euractiv.com/section/politics/news/romanian-government-to-pay-off-debt-to-clear-construction-of-eu-funded-projects/>
- <https://profitline.hu/romania-gdp-aranyos-allamhaztartasi-hianya-40-szazalekkal-nott-451407>
- https://ro.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00907.html

ブルガリア関連ニュース

- <https://euractiv.com/section/economy-jobs/news/bulgaria-looks-toward-quality-jobs-to-combat-poverty/>
- <https://seenews.com/news/bulgarias-industrial-ppi-decline-deepens-in-june-829573>

セルビア関連ニュース

- <https://seenews.com/news/eu-to-grant-serbia-162-mln-euro-to-back-green-agenda-826516>
- <https://seenews.com/news/serbia-hungary-agree-to-build-oil-pipeline-set-up-gas-trading-company-826432>